

令和6年度 岡崎市水道事業会計

よくわかる決算書

水道がよくわかるでござる



岡崎市上下水道局×オカザえもん

目 次

1 決算書とは？	1
まずは、財務三表それぞれの役割について説明するよ！	2
2 経営成績はどうだったの？	3
水道事業の状況を見てみよう！	3
損益計算書の「収入」を見てみよう！	4
次に損益計算書の「支出」を見てみよう！	5
「減価償却費」と「長期前受金戻入」を知ろう！	6
損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！	7
「資本的支出」(＝損益計算書に載らない「支出」)を見てみよう！	8
「資本的収入」(＝損益計算書に載らない「収入」)を見てみよう！	9
「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！	10
まとめ	11
3 「補てん財源」の推移を見てみよう！	12
4 水道事業が置かれている状況を見てみよう！	13
5 財務三表の解説	16
【図解】損益計算書	16
【図解】貸借対照表	17
【図解】キャッシュ・フロー計算書	18
よくわかる決算書 用語解説	19

1 決算書^{けっさんしょ}とは？

岡崎市水道事業では公営企業会計^{こうえいきぎょうかいけい}を採用しています。

公営企業会計では民間企業のように複式簿記^{ふくしきぼき}を使って記帳を行います。
その記帳の内容を取りまとめたものが「決算書」です。

決算書は、4月1日から翌年の3月31日までの1年間の経営成績と財政状態について、
損益計算書^{そんえきけいさんしょ}、貸借対照表^{たいしやくたいしやうひやう}、キャッシュ・フロー計算書^{ざいむさんびやう}（財務三表と呼びます）などの
決算書類で表しています。

ただ、この書類は初めて見る人には少し難しい内容です。
そのため、使用者のみなさんに決算書に書かれていることを分かりやすくお伝えし、
岡崎市の水道事業がどのような経営状況なのかを少しでも知っていただけるよう
決算書の概要版を作成しました。

決算書を見たでござるが、見慣れない言葉が
多くてよく分からないでござる…。



岡崎市のご当地キャラクター
オカザえもん



岡崎市上下水道局マスコットキャラクター
スイットくん

ぼくが決算書の内容を分かりやすく説明するよ！

まずは、財務三表それぞれの役割について説明するよ！



損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書を合わせて「財務三表」と呼ぶんだ。

それぞれ役割があり、水道事業の経営状況が分かるよ！

「儲かったか」が分かるってことでござるか？



「儲かったか」も分かるね！

その他にも「現金を増やすことができたか」や「浄水場などの資産がどれくらいあるか」も分かるんだ。

「儲かった」と「現金が増えた」は違うでござるか…？



実はその2つは違うんだ！
この「よくわかる決算書」でその違いを説明していくよ。

まずは、財務三表それぞれの役割を覚えよう！

損益計算書は「儲かったか」
貸借対照表は「資産、負債、資本の状況」
キャッシュ・フロー計算書は「現金が増えたか」

をあらわす書類なんだ。

次のページから損益計算書を中心に
水道事業の経営状況について解説していくね！



2 経営成績はどうだったの？

水道事業の状況を見てみよう！

1 水道の給水件数

項目	令和6年度	令和5年度	前年度からの増減
きゅうすいごすう 給水戸数(戸)	171,652	170,045	1,607
きゅうすいじんこう 給水人口(人)	381,350	382,847	△ 1,497



「給水戸数」は、水道を使っている家の数のことで、前年度から1,607戸増えているよ！

「給水人口」は、水道水を使っている人の数のことで、前年度から1,497人減っているよ。

人口の減少は、水需要の減少につながって、料金収入の減少をもたらすなど経営にも影響があるんだ。

2 水道水の使用量

項目	令和6年度	令和5年度	前年度からの増減
ゆうしゅうすいりょう 有収水量(m ³)	39,385,678	39,561,136	△ 175,458



「有収水量」は、みんなが使った水道水の量のことだよ。

節水型機器の普及などで、前年度と比べて175,458m³減っているよ。

これは八丁味噌の木桶3万個分くらいの量なんだ。

3 水道料金の収益

項目	令和6年度	令和5年度	前年度からの増減
きゅうすいしゅうえき 給水収益(億円)	61.2	61.4	△ 0.2

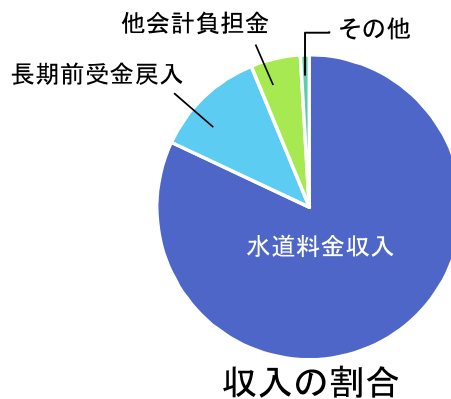


「給水収益」は、それぞれのおうちが使った水の量に応じてお支払いいただく水道料金のことだよ。

給水人口や水道水の使用量の減少に応じて給水収益も減少していることがわかるね。

損益計算書の「収入」を見てみよう！

収入(損益計算書)	(税抜)
内 容	金額(円)
すいどうりょうきんしゅうにゅう 水道料金収入	6,120,022,444
ちようきまそうけきんれいにゅう 長期前受金戻入	878,167,804
たかいけいふたんきん 他会計負担金	395,861,617
その他	68,439,025
合 計	7,462,490,890



水道事業は、みんなにお支払いいただく「水道料金」で経営しているよ！

むむっ！？

収入には、その他にも
「他会計負担金」や「長期前受金戻入」がありまするが…。
これは何でござるか？



よく気が付いたね！

「他会計負担金」は、岡崎市(水道事業は岡崎市から独立している)や下水道事業の仕事を水道事業が代わりに行ったときに、その費用を負担してもらうお金のことだよ！

例えば、消火栓を修繕する費用や、下水道使用料を徴収する費用のことなんだ。

「長期前受金戻入」は少し難しいから、あとで説明するね！

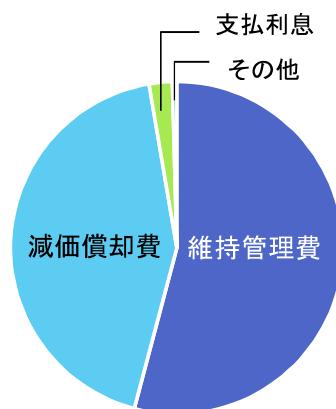


次に損益計算書の「支出」を見てみよう！

支出(損益計算書) (税抜)

内 容	金額(円)
維持管理費	3,787,291,114
減価償却費(※)	3,019,928,137
支払利息	158,113,164
その他	30,511,030
合 計	6,995,843,445

※ここでいう減価償却費には
固定資産の価値を減らす費用を広く含めているため
損益計算書上の数値とは一致しません。



支出の割合

「維持管理費」とはどんな費用でござるか？



「維持管理費」は川の水や地下水をきれいにする浄水場や、各家庭まで届ける水を貯めている配水場の電気代や薬品費、水道の仕事をしている職員の給料などが含まれているよ。

では「支払利息」とは何の利息でござるか？



施設を作るときに借りたお金に対する利息のことだよ！

もう1つの「減価償却費」とは何でござるか？



「減価償却費」は、前のページで出てきた「長期前受金戻入」とセットで考えると分かりやすいから次のページで説明するね。

「減価償却費」と「長期前受金戻入」を知ろう！

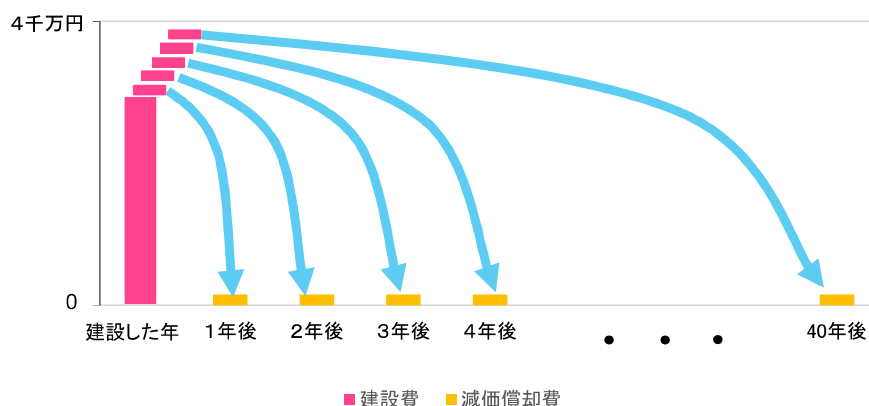


損益計算書は1年間にかかった費用を載せる決まりがあるよ。

水道管などは長い間使えるよね。だから、作った年にかかったお金を費用とはせずに、その施設が使える年数で少しずつ費用にしていくな。これを「減価償却費」というんだよ。

作った年にお金の支払いは済んでいるんだけど、作ったお金の全部が費用になるのは、ずーっと先になるんだ。

40年使える水道管を4千万円で建設した時の減価償却のイメージ



建設した年に4千万円を支払っておりますが、損益計算書では40年かけて少しずつ費用として載せているのですな。

その年に現金で支払ったものが全て損益計算書に載っているわけではないということですな。

では「長期前受金戻入」ってどんなものでござるか？



「長期前受金戻入」は、この収益バージョンだね。

水道事業では国からの補助金などを建設費用に充てているんだけど、その補助金などは施設が使える年数に合わせて収益にしていくな！



この2つは、この後の話でも出てくるから覚えておいてね。

次に損益計算書の「収入」から「支出」を引いて、分かることを説明するね！

損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！

収入－支出＝純利益（純損失）

466,647,445円



約4億7千万円のプラスだね。収入から支出を引いたものがプラスだと「純利益」、マイナスだと「純損失」と呼ぶよ。黒字、赤字って言うと分かりやすいかな？

損益計算書から分かることは、水道事業が黒字だったか、赤字だったかってことなんだ。

約4億7千万円も黒字なら水道事業は安心でござるな。



そのとおり！…と言いたいところなんだけど、水道事業には損益計算書に載らない支出と収入があるんだ。

先ほど見た損益計算書の支出と収入で全部ではないのでござるか！

それはもしかして、「減価償却費」や「長期前受金戻入」と関係しているのでござるか？



するどいね！
水道管の建設費のように、実際に現金の支出や収入をしても、損益計算書に載らない項目があるんだ。

そういった支出や収入もしっかりと把握する必要があるよ！

こういった今年に支出や収入をしているんだけど、性質上、損益計算書に載らないものをそれぞれ、「資本的支出」と「資本的収入」というんだ。

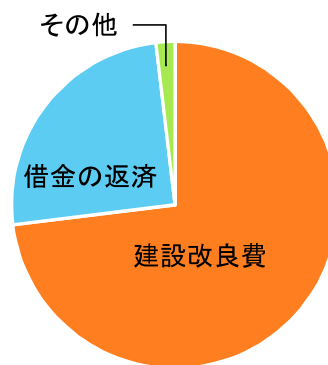


「資本的支出」と「資本的収入」について詳しく教えてください！



「^{しほんてきししゅつ}資本的支出」(＝損益計算書に載らない「支出」)を見てみよう！

資本的支出 (税抜)	
内 容	金額(円)
けんせつかいりようひ 建設改良費	3,935,193,440
借金の返済	1,351,138,667
その他	100,000,000
合 計	5,386,332,107



資本的支出の割合



「建設改良費」は施設の建設費のことだよ。

あとは、施設を建設するときの借金を返すお金も損益計算書には載っていないよ。

損益計算書に載っていない「支出」が約54億円もあるでござるか…。

まさか損益計算書に載らない「支出」がこんなに大きいとは思わなかったでござる！



水道事業は施設の建設や更新が多いから「資本的支出」がとても大きいよ！

だから損益計算書に載らない支出もしっかり見ないといけないんだよ。



施設の建設費などが損益計算書の支出として載っていないように、損益計算書に載っていない収入もあるよ。

それを「資本的収入」と呼んでいるんだ。

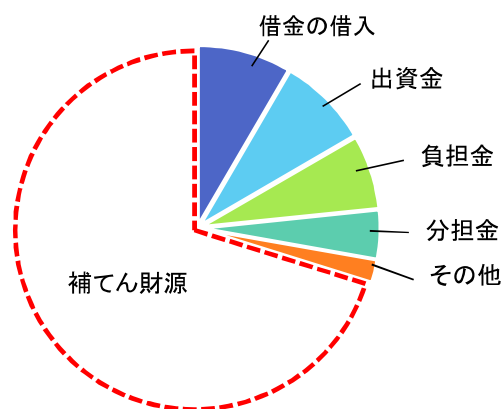
じゃあ次のページで「資本的収入」の中身も見てみよう！

「資本的収入」(＝損益計算書に載らない「収入」)を見てみよう！

資本的収入 (税抜)

内 容	金額(円)
借金の借入	452,900,000
出資金	443,206,678
負担金(※)	362,828,743
分担金	238,021,000
その他(※)	110,156,201
合 計	1,607,112,622

※消費税の計算上生じる雑支出を引いていますので、決算書の数値と一致しません。



資本的収入の割合



借金も損益計算書には載らないんだ。

「出資金」は大きな地震がきても安全な水を届けるための耐震化事業や、令和2年度に水道事業へ統合した「簡易水道事業」にかかる事業費の一部として岡崎市からもらっているお金だよ！

岡崎市からの「出資金」ということは、税金が投入されているってことごさるか？



するどいね。「出資金」は税金のことだよ。

地震のような自然災害への対策はたくさんお金が必要で水道料金だけではなかなか進められないんだ。

だから税金をもらって、その費用をまかなっているんだよ！

あと、「簡易水道事業」は水道を使う人が少ない地域を対象としているため、どうしても経営が厳しくなってしまうんだ。

そこで、経営を安定させるために岡崎市から「出資金」をもらうことになっているよ！



じゃあ最後に損益計算書で「収入」から「支出」を引いて、純利益(純損失)を計算したように「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！

「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！

資本的収入－資本的支出	-3,779,219,485円
-------------	-----------------

約38億円の赤字！？

いったいどうやって施設の建設をしているでござるか…？



この赤字は損益計算書の「収入」で補わないといけないんだ。

損益計算書の「収入」で補えるでござるか？

たしか損益計算書の「収入」は維持管理費や減価償却費などの「支出」を引いた純利益の約4億7千万円でござるな？



そのとおり！よく覚えていたね。
ここで問題なのが「減価償却費」と「長期前受金戻入」だよ。

この2つは最初の年にお金のやり取りをしているから、
翌年以降は実際のお金のやり取りが発生していない
費用と収益だったよね。

損益計算書で純利益（純損失）を算出するときに、
収入から支出である「減価償却費」を引いていたけど、
「減価償却費」については実際のお金の支払いは
行われていないから、その分のお金は手元に残って
いることになるよ。

反対に損益計算書における「長期前受金戻入」は、最初の
年にもらった補助金を施設の使える年数にあわせて
収益として計上しているわけだから、この1年のお金の
動きを考えると、引かないといけないんだ。



「減価償却費」は、最初の年に支払った「建設費」の
うちの今年度分を計上しているだけだから、実際には
お金の支払いはないのでありますな。

だからこのお金は、「資本的収入－資本的支出」の赤字
を埋めるのに使えるのでござるな。



まとめ



では、実際に補えるのか計算してみよう！

資本的収入－資本的支出の赤字は 約37億8千万円

損益計算書上の純利益(黒字額)は 約4億7千万円

損益計算書で支出計上したが、
手元に残っているお金(減価償却費分)は 約30億円

損益計算書で収入計上したが、
使えないお金(長期前受金戻入分)は 約8億8千万円

全てを足し引きすると下の計算式のようになるよ。

資本的収入－資本的支出		-3,779,219,485	円
損益計算書上の純利益(黒字額)	+	466,647,445	円
減価償却費	+	3,019,928,137	円
長期前受金戻入分	-	878,167,804	円
		-1,170,811,707	円

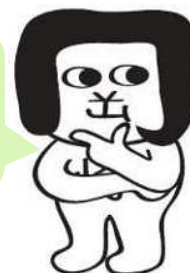
今年は約11億7千万円補えていないけど大丈夫でござるか？



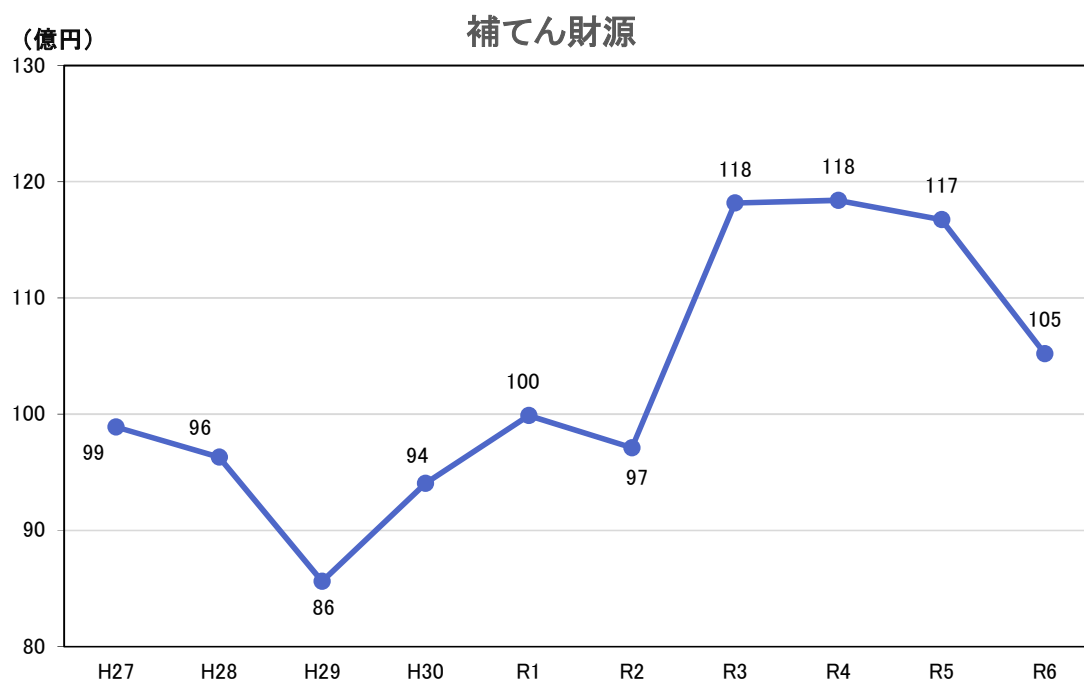
ご心配ご無用！今年みたいに不足が出たときや今後の建設費に
使うために、これまでに生じた利益などからなる「補てん財源」と
いうものがあるんだよ。

今年はそれを使って不足分を補ったよ。

損益計算書で黒字だから安心してことではなくて、
「資本的収入」と「資本的支出」の結果も見ないと
いけないのでござるな！



3 「補てん財源」の推移を見てみよう！



今は105億円ぐらい「補てん財源」があるでござるな！
これが多いか少ないか、桁が大きすぎて分からないでござる。



水道事業の補てん財源は比較的高い水準にあるんだ！
今後の建設費や赤字が出たときの補てんに使えるお金として財源を確保しているよ。



老朽化した水道施設の更新や、各家庭への水道管の耐震化を進めているんだ。

特に、主要な水道管を優先的に新しくすることで、災害に強く、安全な水を安定して届けられる丈夫な水道システムに作り替えているよ！

4 水道事業が置かれている状況を見てみよう！

ちなみに、岡崎市の水道事業は健全に運営されているでござるか？



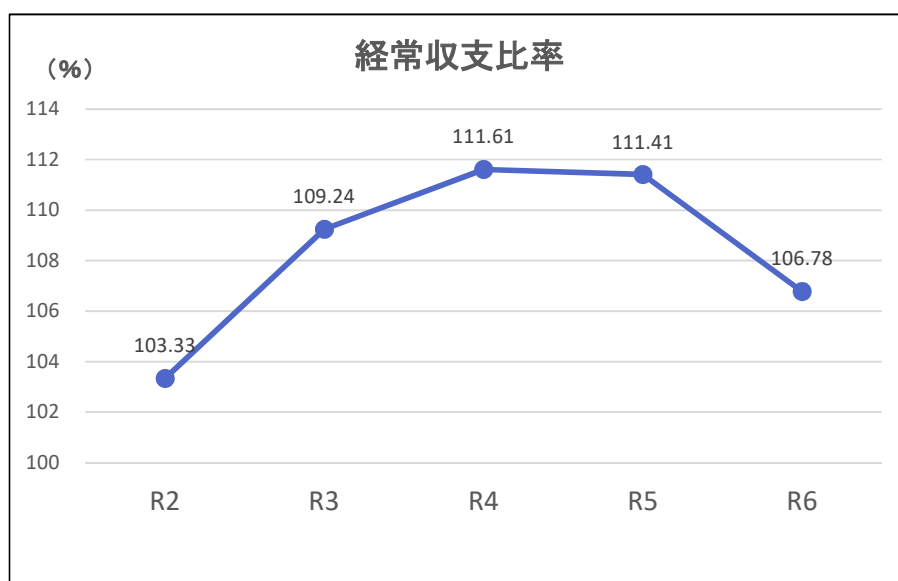
けいじょうしゅうしひりつ
それはね、「**経常収支比率**」を見るとある程度わかるんだ！

け、けいじょう…なにでござるか？



「**経常収支比率**」は、水道事業で毎年安定して入ってくるお金と、毎年かかる費用のバランスを見る指標だよ。

簡単に言うと、みんなにお支払いいただく「**水道料金**」でちゃんと運営できているかを見るために、使う指標なんだ。



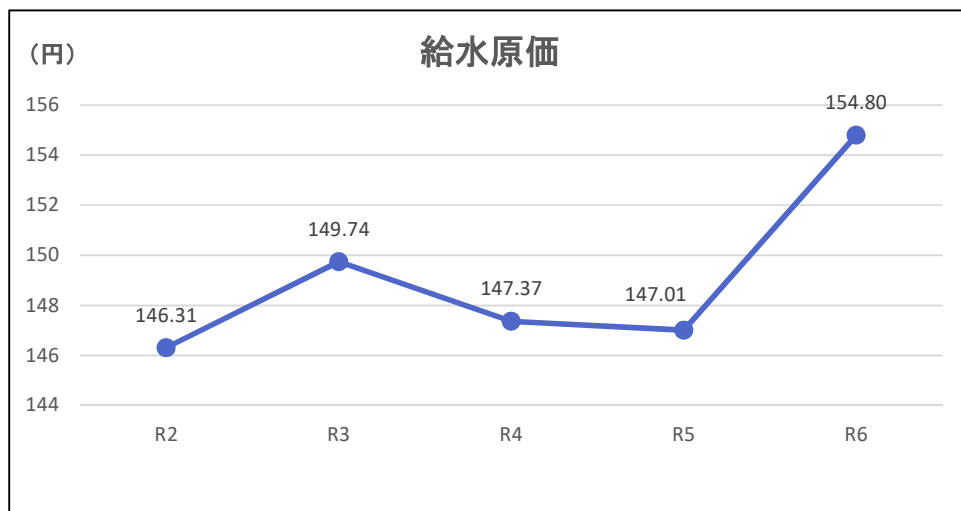
毎年100%を上回っていることがわかるね。

これは、経常的な支出に対して、それを上回る収入があるということを示しているんだよ。

それでも、令和6年は前年度と比べて下がってしまっているね。どうして下がったのか内容を見ていこう。



給水原価の高騰



給水原価は、

水を1m³供給するために、どれくらいの費用がかかったかを表す指標だよ！

令和6年は大幅に上昇しているでござるな...



そうなんだ。

安定した水の供給のためには、原水を得るための費用や配水施設の更新、これまでに設置してきた水道管の維持管理にも費用がかかってくるんだ。

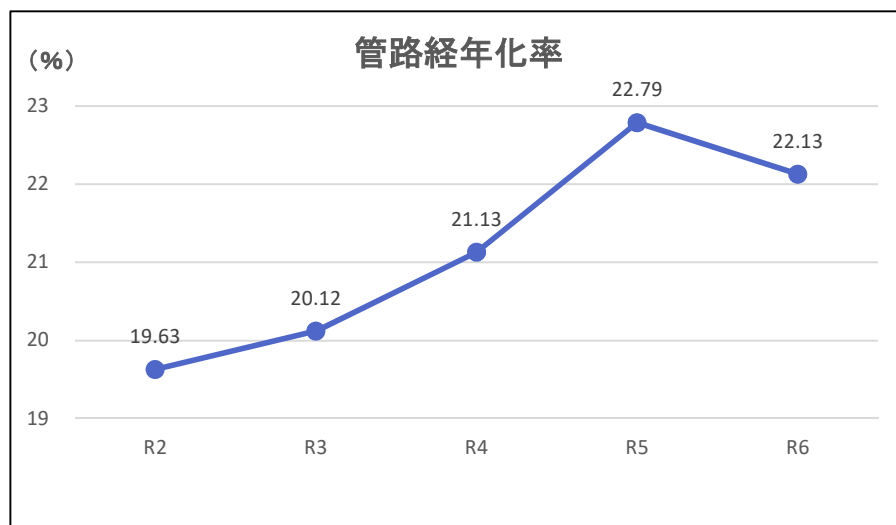
物価の高騰なども相まって給水原価が大幅に上昇しているんだよ。



そうでござったか。
ちなみに「**水道管の維持管理に多くの費用がかかっている**」ということは老朽化が進んでいる水道管も多いというごときでござるか？



水道管の老朽化はどのくらい進んでいるのか



かんろけいねんかりつ

「管路経年化率」は、現在整備されている水道管全体のうち法定耐用年数を経過した管がどれくらいあるかを表す指標だよ！

管路経年化率は年々増加傾向にあるからこそ、迅速な整備の対応が必要になっているんだ。

その分水道事業を運営するコストが上がることになるから、給水原価も上がって、経営収支比率は下がりやすくなるんだよ。



そうござるか！

水道は生活に最も身近で重要なライフラインだから、ずっと水道が使えるよう計画的に老朽化対策も進めていく必要があるでござるな！



水道料金の改定

令和7年10月から20年ぶりに水道料金を増額します。(平均9.7%)

現在、古くなった施設の更新や災害対策、料金収入の減少などにより安定した経営を続けることが難しくなっています。

将来の世代にも安全で安心な岡崎の水を使い続けていただけるよう、ご理解とご協力をお願いします。

5 財務三表の解説

【図解】損益計算書(決算書P10～11)

損益計算書は、ある一定期間における企業の経営成績を明らかにするため、その期間中に得たすべての収益、これに対応するすべての費用、最終的な損益を記載する報告書です。

★損益計算書から分かること

損益計算書からは、どのような経営活動によって、どれだけの経営成績を上げたかを知り、それに基づいて過去の経営を分析し、また、将来の方針を立てることができます。

★注目ポイント

①営業損失

本業による損益が分かる！
水道事業の本業は、きれいな水を作って、みなさんにお届けすることです。水をきれいにする費用や、みなさんからいただいた水道料金収入等の、主たる営業活動の結果を示しています。

②経常利益

経営活動から生じた損益が分かる！
本業に関する損益に加えて、国や県の補助金、一般会計からの繰入金(税金)による収入や、損益の結果を示しています。

③当年度純利益

最終的な損益が分かる！
1年間のすべての損益の結果を示しています。

2 令和6年度岡崎市水道事業損益計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 円)

1	営業収益			
(1)	給水収益	6,120,022,444		
(2)	受託工事収益	3,497,860		
(3)	その他営業収益	236,202,653	6,359,722,957 (ア)	
2	営業費用			
(1)	原水及び浄水費	2,280,274,110		
(2)	配水及び給水費	712,861,592		
(3)	受託工事費	2,234,014		
(4)	業務費	403,384,348		
(5)	総係費	311,606,024		
(6)	減価償却費	2,920,373,791		
(7)	資産減耗費	176,485,372	6,807,219,251 (イ)	
	営業損失		447,496,294 (ウ)=(ア)-(イ)	
3	営業外収益			
(1)	受取利息及び配当金	19,594,309		
(2)	他会計負担金	61,079,783		
(3)	補助金	2,397,725		
(4)	長期前受金戻入	878,167,804		
(5)	資本費繰入収益	105,917,981		
(6)	雑収益	22,801,180		
(7)	引当金戻入益	331,000	1,090,289,782 (エ)	
4	営業外費用			
(1)	支払利息及び企業債取扱諸費	158,113,164		
(2)	雑支出	11,935,252	170,048,416 (オ)	920,241,366 (カ)=(エ)-(オ)
	経常利益		472,745,072 (キ)=(ウ)+(カ)	
5	特別利益			
(1)	固定資産売却益	0		
(2)	過年度損益修正益	11,454,172		
(3)	その他特別利益	1,023,979	12,478,151 (ク)	
6	特別損失			
(1)	過年度損益修正損	1,690,979		
(2)	その他特別損失	16,884,799	18,575,778 (ケ)	△ 6,097,627 (コ)=(ク)-(ケ)
	当年度純利益		466,647,445 (キ)=(ウ)+(コ)	
	前年度繰越利益剰余金		0	
	その他未処分利益剰余金変動額		500,000,000	
	当年度未処分利益剰余金		966,647,445	

次の式で損益を把握します
損益 = 収益 - 費用

プラスなら利益が出ている！
マイナスなら損失が出ている…



★貸借対照表とは？

★貸借対照表から分かること

資産は、性質によって「固定資産」と「流動資産」に分かれています。

区分の仕方は、1年間のうちに現金化できるものを「流動資産」、できないものを「固定資産」としています。

この区分のルールを「ワンイヤールール」と呼びます。

★注目ポイント ※カッコ内は前年度数値

①流動比率(%)=流動資産÷流動負債×100=349.7%(368.5%)

すぐに支払わなければならないお金(流動負債)を、
すぐに支払えるか(現金等の流動資産がどれくらいあるか)
を表します。
200%以上が理想的で、指標が高いほど経営が安定していると言え
ます。
(参考: R5決算類似団体平均値=232.7%)

$$\text{②有形固定資産減価償却率(\%)} = \frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産}} \times 100$$

$$= 43.7\% (43.1\%)$$

有形固定資産の減価償却がどの程度進んでいるか
(その資産をどれくらいの期間使っているか)を表します。
指標が高いほど資産の老朽化度合いが高いと言えます。
(参考: R5決算類似団体平均値=52.7%)

指標を前年度や他の団体と比べることで、現在の経営状況を把握できるのでござるな！



【資産の部】	金額(円)	【負債の部】	金額(円)
定 資 産	78,022,171,084	固 定 負 債	13,090,918,101
形 固 定 資 産	77,116,830,275	企 業 債	12,214,163,797
土 地	3,457,536,581	引 当 金	876,754,304
建 物	4,226,095,765	流 動 負 債	4,047,697,000
構 築 物	110,381,815,245	企 業 債	1,290,496,397
機 械 及 び 装 置	14,094,605,963	リ ー ス 債 務	0
車 両 運 搬 具	101,125,491	未 払 金	2,282,894,987
工 具 器 具 及 び 備 品	103,793,376	前 受 金	1,655,500
リ ー ス 資 産	2,620,000	引 当 金	76,350,000
減 価 償 却 累 計 額	△ 56,363,446,377	そ の 他 流 動 負 債	396,300,116
建 設 仮 勘 定	1,112,684,231	繰 延 収 益	21,007,801,006
形 固 定 資 産	5,340,809	長 期 前 受 金	36,866,704,591
ソ フ ト ウ ェ ア	5,340,809	収 益 化 累 計 額	△ 15,858,903,585
資 其 の 他 の 資 産	900,000,000	負 債 合 計	38,146,416,107
投 資 有 価 証 券	900,000,000		
動 資 産	14,154,273,094	【資本の部】	金額(円)
金 預 金	12,303,577,323	資 本 金	51,365,330,340
収 金	1,527,525,486	剰 余 金	2,664,697,731
倒 引 当 金	△ 2,523,737	資 本 剰 余 金	398,050,286
蔵 品	42,200,022	利 益 剰 余 金	2,266,647,445
払 金	283,494,000	資 本 合 計	54,030,028,071
産 合 計	92,176,444,178	負 債 資 本 合 計	92,176,444,178

負債は、企業債(借金)に代表されるように、他者に返さなければならない(支払義務がある)お金だよ。



繰延収益は、資産の取得（配水管の建設等）の際にもらった補助金等、返す必要のないお金だよ。



資本は、資本金や事業で獲得してきた利益等、返す必要のないお金だよ。



『お金の使い道』！！

集めたお金が、「どのような状態」で「どれだけ」あるかが分かります。

『お金の集め方』！！
企業が資産を獲得するためのお金を、
「どうやって」集めたかが分かります。

【図解】キャッシュ・フロー計算書(決算書P38～39)

★キャッシュ・フロー計算書とは？

キャッシュ・フロー計算書は、対象年度中の現金の増減とその理由を表す報告書です。

★キャッシュ・フロー計算書から分かること

損益計算書、貸借対照表からは読み取りにくい、「1年間の現金の流れ」をその理由と合わせて知ることができます。

★注目ポイント

①現金を増やすことはできたか？

まずは現金が増えているか、減っているかを確認します。
その後で各キャッシュ・フローを見ると、なぜそうなったのか？が分かります。

②「業務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスか？

水道事業を続けるためには、本来の営業活動で得たお金(水道料金)で、浄水場や水道管の維持管理・更新をしていく必要があります。
そのためには、必ずプラスにならなければなりません。

③「投資活動によるキャッシュ・フロー」はどれくらいマイナスか？

現在、多くの水道施設が更新期を迎えており、多額の更新費用が必要です。施設の更新をすれば、必ずマイナスとなりますが、その規模が重要です。

④「財務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスかマイナスか？

水道事業では、水道料金に加えて、お金を借りて施設の更新を行っています。
借入と返済による資金の増減を表し、借りた金額よりも返す金額の方が多ければマイナスに、借りた金額が返す金額よりも多ければプラスになります。

キャッシュ・フロー計算書の読み方の例

	業務活動	投資活動	財務活動	概要
パターン 1	プラス	マイナス (△)	マイナス (△)	本業の業績は概ね良好であり、有利子負債残高を減少させつつ建設改良に係る投資も実施しているため、比較的良好な経営状態にあると考えられる。
パターン 2	プラス	マイナス (△)	プラス	本業の業績は概ね良好であるが、建設改良に係る投資財源を有利子負債に依存し、かつその残高が増加しているため、今後の返済負担増加が想定される。
パターン 3	マイナス (△)	マイナス (△)	プラス	本業の業績が厳しく、建設改良に係る投資財源に加え、日常の運転資金も有利子負債に依存している可能性があるなど、資金繰りが非常にタイトになっていると想定される。

令和6年度 岡崎市水道事業キャッシュ・フロー計算書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	466,647,445
減価償却費	2,920,373,791
固定資産の譲渡に伴う増減額	16,884,799
固定資産除却費	99,554,346
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18,083,378
賞与等引当金の増減額(△は減少)	4,640,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,125
長期前受金戻入額	△ 878,167,804
資本費繰入収益	△ 105,917,981
受取利息及び受取配当金	△ 19,594,309
支払利息	158,113,164
未収金の増減額(△は増加)	△ 84,153,771
未払金の増減額(△は減少)	271,431,411
前払金の増減額(△は増加)	22,430,000
前受金の増減額(△は減少)	△ 18,554,248
その他流動負債の増減額(△は減少)	△ 4,316,461
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,183,667
小計	2,877,644,552
利息及び配当金の受取額	19,594,309
利息の支払額	△ 158,127,082
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,739,111,779
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 4,242,143,518
投資有価証券の取得による支出	△ 100,000,000
工事負担金による収入	282,740,234
分担金による収入	238,021,000
他会計負担金による収入	171,140,730
県補助金による収入	110,156,201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,540,085,353
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	452,900,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,352,381,242
一般会計からの出資による収入	966,866,468
リース債務の返済による支出	△ 891,125
財務活動によるキャッシュ・フロー	66,494,101
資金増加額(又は減少額)	△ 734,479,473
資金期首残高	13,038,056,796
資金期末残高	12,303,577,323

水道事業本来の
営業活動で資金を
稼げているか？
を表しているよ。



施設の更新等、設備
投資にどれだけ資金
を使ったか？
を表しているよ。



借入と返済のどちら
を多くしたか？
を表しているよ。



よくわかる決算書 用語解説



よくわかる決算書に出てきた専門用語を
わかりやすく解説するでござる！

か

勘定…………… 取引が行われるつど、資産・負債・資本・収益・費用の5つの要素を用いて記録する。それらの要素を勘定という。
また、例えば資産勘定の中でも、現金や普通預金、建物など中身は細かく分けられる。これらは勘定科目という。

管路経年化率…… 水道管路の総延長のうち、法定耐用年数（日本では通常 40 年）を超えた管路の割合を示す指標。

キャッシュ・フロー計算書… 現金の増減に関する情報を表示する報告書のこと。（P17 参照）

きょうじん
強靱化…………… 地震・台風・豪雨などの自然災害や事故に対して
★壊れにくい設備にする ★災害がなくても給水が続けられる ★速やかな復旧ができる
等の取り組み全体を言う。

給水原価…………… 水1m³を供給するためにかかった費用。
【算出方法】
〔経常費用－（受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費＋長期前受金戻入）〕÷年間有収水量

経常収支比率…… 経常的な収益で経常的な費用をどれくらいまかなえているかを示す指標。
財政構造の健全性を表す。
【算出方法】
経常収益÷経常費用×100

公営企業会計…… 官公庁特有の方式である「一般会計」に対して、民間企業と似た方式をとる会計制度のこと。下記の2つの大きな特徴がある。

① 発生主義

現金取引の有無に関わらず、経済活動の発生を記帳のタイミングと考える。

② 複式簿記

一般企業(株式会社など)と同様の記帳方法

正確な経済状態の把握が可能になるメリットがある。

さ

資本的収支……… 収益や費用には関係ない、資本や負債に関わるお金の流れ。例えば、資産となりうる建物・施設の建設や、企業債の元金償還などが資本的収支に含まれる。
資本的収支は、公営企業会計では4条と呼ばれている。

収益的収支……… 経営活動に伴って発生する全ての収益と費用を表す。
水道事業でいうと、水道料金や維持管理費などがこれに含まれる。
収益的収支は、公営企業会計では3条と呼ばれている。

損益計算書……… ある一定期間における企業の経営成績を表示する報告書のこと。(P15 参照)

た

貸借対照表……… 年度末時点における企業の財政状況を表示する報告書のこと。(P16 参照)

長期前受金戻入… 財源を年数ごとに少しずつ収益にしていく仕組みのこと。
施設等を建設するときには、国や県から補助金をもらったり、一部を市民の方に負担していただいたりしている。これらは施設を建設する年にまとめて貰うが、損益計算書には“1年間にかかった費用と収益を載せる”という決まりがあるため、減価償却と同様に、その施設が使える年数に合わせてそれぞれの年に収益を分ける必要がある。

は

- 引当金**…………… 将来発生する費用や損失に備えるために、あらかじめ準備しておくもの。
貸倒引当金や賞与引当金など、様々な勘定科目がある。
- 負債**…………… 企業債や未払金等の借金のような、返す義務のあるもの。
返さなければならない期限が1年未満か1年以上かによって、流動負債と固定負債に分けられる。
- 負担金(収入)…** 例えば愛知県や岡崎市下水道事業などの事業者から水道管工事の依頼を受けた際、
事業者に出る工事費用の負担を求めるもの。
- 分担金**…………… 給水装置の新設等で新たに水道管を接続された人に負担いただくもの。水道施設の
建設費の財源に充てられる。
- 補てん財源**…………… 今までに生じた利益や、費用化されるが当年度現金を支払う必要のない減価償却費
などが「補てん財源」として管理される。
- 資本的収入よりも資本的支出の方が大きい場合は、この補填財源で補填しなければならない。
その理由は、資金的な裏付けがあることを確認し、企業がその事業規模を逸脱して
拡大・拡張していないかを確認するためである。

ら

- 流動資産**…………… 1年以内など、比較的短い期間で現金にすることができる資産のこと。現金や
普通預金、未収金、短期貸付金などがある。
- 流動負債**…………… 企業の本業に関わって生じた支払債務や、1年以内に支払わなければいけない
債務のこと。

**岡崎市水道事業では、
令和7年10月に20年ぶりとなる
水道料金の値上げ改定を行います。**



安全・安心な水道水の安定供給に引き続き努めてまいります。